

第17回 河内長野市地域公共交通会議録

会議名称	第17回 河内長野市地域公共交通会議
開催日時	平成25年4月24日（水） 午後3時～
開催場所	河内長野市役所 701会議室
公開・非公開の別 （非公開とした 場合はその理由）	公開
傍聴者	1人
出席委員	別紙出席者名簿のとおり
会議次第	<ul style="list-style-type: none"> （1）河内長野市地域公共交通会議副会長及び監事の指名について （2）地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価（自己評価）について （3）モックルコミュニティバス上限200円運賃の試行運行状況について （4）楠ヶ丘地域乗合タクシーの利用状況等について （5）バス利用の手引き・バスマップの作成について （6）その他
会議内容	別紙会議内容のとおり

第17回 河内長野市地域公共交通会議内容

発言者	会議内容（要旨）
事務局 （水上主査）	<p>平成25年度第17回河内長野市地域公共交通会議を開催させていただきます。本日はお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。会議に入ります前に、芝田市長より委員の皆様へ委嘱状の交付をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>（市長より委嘱状の交付）</p>
事務局 （水上主査）	<p>開会にあたりまして、芝田市長にご挨拶を頂戴いたします。</p>
芝田市長	<p>改めましてこんにちは。本日は地域公共交通会議ということで、ご多用の中お集まりいただきまして本当にありがとうございます。河内長野市は皆様もご存知の通り33市の中では、高齢化率が27%と最も高い数字になっております。また坂道も多く、公共交通がこれから高齢化の中で、非常に大きな必要性、重要性を占めるのではないかと考えております。モックルコミュニティバスの上限200円運賃の実施や、楠ヶ丘におきましては公共交通が通っていないということもあり、乗合タクシーのくすまるを走らせていただき、また、いろいろ知恵を出していただいて本当にありがとうございます。河内長野は確かに高齢化が高く厳しい面はありますが、先日、少しうれしい数字を教えてくださいました。健康寿命というのがございまして、全国では男性が70歳、女性が73歳ですが、河内長野は男性が76歳で6歳高く、女性が78歳、全国平均よりも5歳健康であるという数字も出ております。こういう数字を聞きますと、いろいろ問題点はありますが、高齢者の方々に歩いていただいて、さらにモックル体操というものも市で考えさせていただいて、今年から広めていこうとしています。もちろん健康ということは大事ですし、それを補完する意味で公共交通の持つ役割が非常に大きいものと考えております。これからもよろしくご審議の上、河内長野市の公共交通にとって持続性のある案をお出しただけならと思っております。よろしくお願いいたします。また、道路関係では、ひとつは千代田駅の東側について、西側程大きくはないんですが、東側にもロータリーが出来あがりまして、河内長野駅前では南北のノバティを繋ぐデッキに屋根ができて、さらに今年度も階段部分への設置や、バス乗り場のところも少し改善をしていきたいと考えております。さらに、三日市の方</p>

<p>事務局 (水上主査)</p>	<p>では長年懸案でありました三日市一号線がきれいな十字路になり、子供たちの通学路の部分が広がりました。その部分では安全に通学してもらえそうな形ができました。また、二週間ほど前ですが、大野天野線のトンネルが2本とも通りまして、この秋には完了すると伺っております、少しずつですが、河内長野の道路面も力を入れて、市民の皆様にご利用いただきやすいよう行っていきたく思っておりますので、よろしくご指導の程お願い申し上げます。最後になりますが、本日の会議に忌憚無くご意見を出していただき、すばらしい公共交通会議を進めていただきますようお願いを申し上げます、最初の挨拶に代えさせていただきます。本日はよろしくお願い申し上げます。</p> <p>ありがとうございました。それでは、事務局より本日お集まりの委員の方々をご紹介させていただきます。</p> <p>(別紙名簿のとおり)</p> <p>以上、委員の方々でございます。続きまして、事務局の紹介をさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通政策課長 井上でございます。 ・交通政策課主査 水上でございます。 ・交通政策課 松坂でございます。 ・交通政策課 田中でございます。 <p>以上、委員及び事務局の紹介となりますので、よろしくお願いいたします。なお、ここで、芝田市長は公務のため、退席されますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、次に会議次第5の河内長野市地域公共交通会議について、事務局よりご説明させていただきます。</p> <p>(事務局より、河内長野市地域公共交通会議について、資料1の説明)</p> <p>ただいまの説明について、ご意見・ご質問がございましたらよろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、先程ご説明いたしましたように、地域公共交通会議規則第5条第2項により、会長は向井副市長となっておりますので、会長より委員の皆様にご挨拶をお願いいたします。</p>
-----------------------	---

向井会長	皆様改めましてこんにちは。この地域公共交通会議も第17回ということで、市長からもご挨拶ありましたように、この会議の議論が活発になっていくことが、市民の皆様の安全、安心で豊かな生活につながると考えておりますので、今後とも皆様の熱心な意見交換、議論によって、良いまちづくりに努めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。本日はありがとうございます。
事務局 (水上主査)	ここからの進行は、規則第7条第1項により会長が議長となりますので会長に進行をお願いします。
向井会長	それでは、議長を務めさせていただきますので、ご協力よろしくお願い申し上げます。初めに、規則第8条第1項の規定によりまして、半数以上の方が出席されておりますので、会議が成立していることをご報告いたします。また、規則により公開とさせていただきますのでよろしくお願い申し上げます。
向井会長	<p>【議題1】</p> <p>それでは、議題（1）の副会長及び監事の指名については、規則第5条第3項、また規約第11条第2項の規定に基づきまして、私から副会長と監事を指名させていただきたいと存じます。副会長には日野委員を、監事には井戸委員、濱本委員を指名させていただきます。副会長及び監事についてはよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、副会長及び監事については指名のとおりとさせていただきます。ご就任いただきました副会長並びに監事様にご挨拶をいただきたいと思います。</p>
日野副会長	副会長を務めさせていただきます日野です。引き続きということになりますけども、最近いろんなところから公共交通についての相談がございまして、どこも同じような悩みを抱えておられますが、河内長野に聞きに行ったらどうですか、ということをお願いしております。全体として良いも悪いもありますが、事業者の協力もいただきながら進めているという面では、良い例として参考にしていただけたらと思っております。また、大阪運輸支局さんには一昨年度から担当者会議というものをやっていたいてございまして、地域別に関係する方々が情報交換をいただいているということで、お互い悩みが同じ中で、少しでもこれからの高齢化社会を支える公共交通に、一筋の光をさしていただけたらありがたいなと思っております。公共交通会議にも期待しているところもあ

	<p>りますので、できるだけ積極的にご協力をさせていただきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
向井会長	<p>ありがとうございました。それでは井戸委員お願いします。</p>
井戸委員	<p>ご指名いただいた井戸でございます。精一杯務めさせていただきますので、皆様のご協力よろしくお願いいたします。</p>
向井会長	<p>ありがとうございます。では濱本委員、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
濱本委員	<p>今年初めて会員をさせていただきました。よろしくお願いいたします。</p>
向井会長	<p>どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。</p>
向井会長	<p>【議題2】 それでは次に、議題（2）地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価（自己評価）について、事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>（事務局より、河内長野市地域公共交通確保維持改善事業について、資料2の説明）</p>
向井会長	<p>ありがとうございました。国からの補助部分も含めて事業評価ということで説明がありましたが、この件に関して、何かご質問等はございませんでしょうか。</p>
日野副会長	<p>事業評価そのものについては問題ありませんが、バスのことで3点程教えていただきたいと思えます。ノンステップもワンステップも車椅子のスペースはあるのかどうかということと、ノンステップだと座席数が少し減るかと思うのですが、どれくらい減るのかということと、ノンステップにするとどのくらい割高になるのかということと、一般的なことでいいので教えていただければと思えます。</p>
南海バス	<p>1つ目の車椅子取り付けスペースというのはどちらもございます。2つ目の座席数ですが、座席数が多いタイプでノンステップバスが29、ワンステップバスの方が32です。これで統一されているわけではないのですが、若干ノンステップバスの方が少なくなっています。</p>

事務局 (水上主査)	<p>昨年の2台分については、ワンステップバスが1台1,840万円、ノンステップバスが1,985万円ということで、その差額であります145万円のうちの2分の1を国と市で2台分補助をしましたので、本市としては145万円を補助金としてお支払いいたしました。</p>
日野副会長	<p>多少は車椅子を入れるためにスペースや席数は減ったとか、若干お金は高いとかそのくらいのことは把握しておいていただいて、市民の皆さんにもご理解いただく必要があるのかなと思います。ありがとうございました。</p>
辻野委員	<p>30%の目標ということですが、現状の台数と%はわかりますか。</p>
事務局 (水上主査)	<p>現状でございますが、平成25年3月末時点で総台数が48台、そのうちのノンステップバスが11台ということで約23%でございます。</p>
向井会長	<p>他の委員さんでご質問等はよろしいでしょうか。</p>
向井会長	<p>【議題3】 それでは、次の議題に移りたいと思います。モックルコミュニティバス上限200円運賃の試行運行の利用状況について、事務局お願いいたします。</p> <p>(事務局より、モックルコミュニティバス上限200円運賃の試行運行について、資料3の説明)</p>
向井会長	<p>モックルバスの上限200円の実績、過去のご紹介をいただきましたが、事務局の方もいろいろ工夫を重ねているのですが、目標として負担ゼロを目指していこうということで、委員の皆さん何かご意見等ございましたらお聞かせいただければと思います。</p>
日野副会長	<p>皆さんもお気づきかと思いますが、乗客数が増えて収入が減っている点について、理由はおそらく200円区間未満のところが増えてることかと思いますが、事務局の方は何か情報をお持ちのことがあるのでしょうか。</p>
事務局 (水上主査)	<p>利用者数が0.5%増えましたが、収入が930万2000円から915万円になったことで、南海バスさんともお話ししましたが、原因としては、バスカードを利用した人が多いのではないかとということがひと</p>

	<p>つと、もうひとつは日野副会長がおっしゃられたように160円から190円区間の利用者の割合が増えているということで、平均運賃が下がったと、これは実際に平成23年度と平成24年度の乗込調査の結果を比較しますと、傾向としては確かに160円から190円区間での乗車数が増えています。その2点が要因となって運賃収入が減ったのではないかと考えております。</p>
<p>日野副会長</p>	<p>これからはもちろん運賃収入も大事ですが、お客さんに使っていただくことも大事なので、カードを使っていただいて収入が増えないということは、やむを得ないところもあると思いますが、短距離の利用者が増えている点などをもう少し分析して、どういったところにニーズが今後増やせそうか、それに合わせて上限200円を続けることがいいのかどうか、今後検討していかないといけませんよね。できたらお手数かけますが、調査などをしていただいて、今後の展開のためにどういうことを知っておく必要があるかを考えていただいた中で、そういうデータで今後議論していただいたらいいのかなと思いますので、またよろしくお願ひしたいと思います。</p>
<p>向井会長</p>	<p>日野副会長がおっしゃった160円から190円区間でよく乗っている区間などのデータは手元にありますか。例えば、そういうところが非常に使われるということなど。</p>
<p>事務局 (松坂)</p>	<p>前回のアンケートの結果を見ますと、例えば、医療センターから千代田駅までは200円未満の区間ですが、移動は多くなっています。あとは公共施設間ですとか、駅間の移動が多いかと思ひます。</p>
<p>日野副会長</p>	<p>200円上限のメリットを受けていない人ですよね。ですからその部分が増えるのは結構なことですが、何が原因で増えたのか、上限をやめたら減ってしまわないかとか、そのあたりを今後検討しておく必要があると思ひます。</p>
<p>向井会長</p>	<p>他の委員さんはよろしいでしょうか。 今回は、平成24年度のモックルバスの上限200円の実績ということで、また次回いろいろとご意見をお伺ひしたいと思ひます。</p>
<p>向井会長</p>	<p>【議題4】 それでは、議題(4)楠ヶ丘地域乗合タクシーの利用状況等について、事務局お願ひします。</p>

	<p>(事務局より、楠ヶ丘地域乗合タクシーの利用状況について、資料4の説明)</p>
向井会長	<p>今日は運行していただいている第一交通さんが欠席なんですが、委員の皆様何かご意見等がありますか。</p>
内見委員	<p>夏場の利用が多いということは、普段は歩きでも行かれるケースでも暑いということで乗る、また夏を迎えますとエネルギーの問題もありますので、そういった意味では年間通じてご利用いただくのもいいのですが、特に夏場にご利用していただくのもありかなと思います。</p>
向井会長	<p>4月1日からスタートした烏帽子台の実績はどうでしょうか。</p>
事務局 (水上主査)	<p>22日までで烏帽子台の乗車人数が18人、ただ降りているのが96人いらっしゃるの、烏帽子台の年代が若いのでなかなか乗るのは難しいのですが、帰りに使っていただいているのかなと感じています。また、平成25年度の4月、昨日までの状況で言いますと、昨年が3.9人でしたが4.1人とさらに増えております。</p>
向井会長	<p>今のところ積み残しの実態などはありませんか。</p>
事務局 (水上主査)	<p>なんとかまわれていると運転手さんからも聞いています。</p>
向井会長	<p>地域の方も非常に熱心に推進をしていただいて、自治会の皆さんも助けていただいているという感じです。</p>
向井会長	<p>【議題5】 それでは、次の議題に進ませていただいてもよろしいでしょうか。 次に、議題(5)バス利用の手引き・バスマップの作成について事務局から説明をお願いします。</p>
	<p>(事務局より、バス利用の手引き・バスマップの作成について、資料5の説明)</p>
向井会長	<p>事務局から説明ありましたように、前回の会議でいろんなご意見をいただいていた事務局もいろいろ工夫をしたのですが、いろんな価値観があって</p>

	<p>難しいところで、皆さんそれぞれ現在の試作の状況でどうでしょうかということなんです。いろんな意見交換ができればなと思いますので、どうぞお気づきのことをおっしゃっていただきたいのですが。</p>
向井会長	<p>これはどこかに貼るイメージですか。</p>
事務局 (松坂)	<p>実際に考えると大きすぎるかもしれませんが、一応貼るイメージで考えています。</p>
日野副会長	<p>前回は申し上げましたが、家庭では貼っておかないと、新聞などと一緒にどこかへなくすパターンが多い。ただ貼るには裏表ですし、こんなに大きなスペースはありません。一番多いのは冷蔵庫とするとA4版くらいでカレンダー式というか、めくるような形のものと。あるいは、お金の話もありますが、日常的に使われる方は交通事業者などが作っておられるような携帯式のものでしょうね。それから旅行者の方からすると折りたたんで今の半分くらいの大きさのものでリュックとかに入れられるくらいのもので、それぞれで必要とする状況が違おうだろうなと思っています。全部まとめるとこのような形になるんですね。そうすると、誰がどう使えばいいのかよくわからなくなる。あと三種類作るとなるとお金がかなりかかるという話になる。それは広告じゃないかなと。広告というのは基本的に目に付く場所になれば広告のメリットはないです。何度も開けてやっと広告が出てくるようではなかなか出してもらえないだろうと。そうすると例えば、家庭で貼っておくようになると、各ページごとに家庭で必要とされるような広告を募集する。観光者向けなら観光に来た人が河内長野の名物とか帰りの飲食の情報があればメリットがあるんじゃないかなと。広告を出していただだけそうな形と種類と、それらが可能であれば三種類もペイできる気がしています。オールインワンでまとめて一家に一枚でもいいと思いますが、実際に使うには不便かと思っています。そういったところも考えてみてはどうかと思います。ワーキングみたいな形にしないといけないかもしれないと思うんでね。商工とか観光協会とかですね。それから家庭であれば市民代表の方のご意見とかを踏まえながら、もう少し検討されたらどうかなと思います。いかがでしょうか。</p>
向井会長	<p>堀委員さんは初めての出席ですが、お気づきのことがあれば。</p>
堀委員	<p>大阪府南河内の総合事務所さんの方で、ダイヤモンドトレイルの地図が4月に新しく改定されています。そこにバスの時刻表が出るQRコード</p>

	<p>を地図上に貼り付けていまして、それがいいなと思いました。今回の地図も時刻表をいっぱいおせていますが、確かに私よりもっと高齢な方で、携帯やパソコンが苦手な方にはこういうものでないといけないかと思いますが、若い世代の方はほとんど携帯を持っておられるので、QRコードを並べておくだけでも便利だと思うので、そういう簡単なものを準備されて、停留所や駅ごとに一覧表みたいにするか、南海バスさんのホームページにも携帯用のものがあると思いますが、そこにアクセスできるような簡単なコードを貼り付けるのもひとつかなと思います。</p> <p>直接は関係ありませんが、森林のボランティアや大阪府の自然環境の委員をさせてもらっています。それで山間部に行くことが多いのですが、駐車場もなかなか無いので、南海バスさんを利用させてもらうのですが、実は山に行く便が全然ありません。ご存知と思いますが、石見川のほうへ行こうとするとさらに時間が早くなってまして、6時56分に河内長野駅から出るのが1本あって、そのあとはずっと夕方まで無いんです。この前もそれに乗り損なっただんですけど、そしたらもう無いんですよ。たぶん僕くらいしか行く人がいないのかもわからないんですけど。滝畑の方の便も使えるのは1便くらいしかない。なんとかならんかなという思いもあって今回来させてもらったんです。</p>
向井会長	他の委員さんはいかがですか。市民代表の濱本さんはいかがですか。
濱本委員	家庭に貼るには大きいなと。これだけのせるんだったら近鉄電車さんも河内長野駅通ってるんで、一緒にのせてもらったほうがバスと電車の乗り継ぎがわかって便利かなと思います。主婦の方からすると、A4、B5くらいでページめくって自分のところに関係ある地域を貼れるように。たぶんこれだといところだけ切り取って、必要なところだけという形になってしまうのかなという気がします。やはり見やすいというのはあるかと思うんですけど、貼るスペースとしては小さい方がうれしいですね。
日野副会長	今のカレンダーというのは、月別のものが下のしおりみたいに出ているのがありますよね。そこを上げたらその月が見えるみたいなね。これをそういうふうに分けて、見たいところを持って上げれば良いとかですね。
向井会長	事務局は他の市で何か作っている事例とかは何かあるんですか。
事務局 (松坂)	今手元には無いんですけど、枚方市さんとか、バスマップを作られているところは多いのですが、大きさも結構ばらばらなんです。枚方市さんの

	ものを参考にさせてもらって今回は同じような形にさせていただいてます。
向井会長	このサイズの大きさは。
事務局 (松坂)	A1です。
日野副会長	支局さんとか大阪府さんとかは情報持ってると思いますがどうですか。
浅井委員	市民代表の方からお話ありましたけど、やはりスマホがかなり爆発的に普及し続けているという中で、家で見たい情報と出て行って帰ってくる時に見たい情報って違うと思います。そのへんの情報を一元的にやるとなれば、いろんな種類の地図を作るとなると当然経費もかかりますから、その中で言うとやはりそういうデジタル、ホームページに乗せるとか電子媒体にアップして、いろんなところでスマホ等で見れるような工夫をすると、比較的印刷費用もかからずに済むのかなと感じます。あと最初に思ったんですが、ターゲットを何にするかという中で、観光向けなのか市民向けなのかということになると、落としてくる情報が違うので、観光向けであれば観光情報も一緒にのせればいいでしょうし、市民向けとなると市民の方々が普段使われるので、市長がおっしゃった中でお年寄りが多いというのがあるので、バリアフリーの状態、エレベーターの位置情報とかもあってもいいのかなと感じます。あとは他の市で良いようなサンプルがあれば、また紹介をさせていただきます。
黒田委員	最初見せてもらったときは大きいなと思いました。この間の会議の時にいろいろと意見が出てまして、いろんな情報をいろんな形で出して、その中で必要なものをピックアップしていったら良いんじゃないかという議論の中で、いろいろ収集された中で全体としてまとまってきたんだろうと思います。先程大阪府の方も言われてますように、まずこのマップをどういうふうにするかということだと思っんですね。対象をどこにおくのか、例えば、家庭の中に1枚貼っていただくということがメインであれば、ある意味これでいいと思うんですよ。そんなに悪くないと思う。家庭に貼っておく場所は考えないといけませんが、家庭の中に貼り出すという、マップを作るときの対象をどうするのかということからすれば、家庭に貼るということであればこれで十分わかりやすいし、見た目は非常にわかりやすいと個人的には思います。ただ、それだけではない、その人向けにはその人向けに今後続くと思うので、これ

	<p>から段階的に計画していく、どういう形でどういう対象にしていくのか、例えば、観光メインにするときにはそういう対応にしていくとか。まず今の中で言えば利用促進、皆さんにどういう形でバスを利用してもらうかという面で言えば、先程言われたように新聞のチラシの中に入れても見てスルーしてしまうという形ではなくて、これぐらい印象があれば貼るところを探して貼っておこうかということにもなるんじゃないかなという気がしますから、そういう意味で私自身はそんなに悪くないと思います。</p>
向井会長	<p>ありがとうございます。1部しかないのですが、枚方のマップを回します。濱田委員いかがですか。</p>
濱田委員	<p>濱本さんがおっしゃったものは業者が作ってくれるんじゃないですか。これはこれでいいと思いますよ。</p>
向井会長	<p>南海バスさんとして、乗合バスで、他の市でこんなようなもの作ってるよとかの情報はいかがですか。</p>
松平委員	<p>特にこういうふうに地図に落とすというのはわかりやすいです。うちの会社で作っているのはやはり略図になってしまいますので、位置関係がわかりにくいというのがデメリットになってしまいます。</p>
向井会長	<p>井戸委員はいかがですか。</p>
井戸委員	<p>私の同年代ならどうかわかりませんが、南海高野線の時刻表の下の3列が見えない。それから貼るとすればどちらが表か裏かわからない。好きなほうを貼れというなら結構なんです。</p>
日野副会長	<p>そうするとやはりめくるのが良いのかなと。</p>
井戸委員	<p>でも、個々には非常にうまく作っておられるなと思いました。モックルバスのところなんかは非常にわかりやすいですね。そうすると裏表の選択くらいですか。今日来たときにお伺いしましたら、まだまだ作成中ということで、期待してます。</p>
向井会長	<p>中谷委員いかがですか。</p>
中谷委員	<p>難しいですね。ターゲットをどうするかということですよ。そこから</p>

	取捨選択していくしか。あまりにも大きいな。
井戸委員	ちなみに広告は一枠いくらぐらいですか。
事務局 (松坂)	そのあたりは、まだ全然考えてないんですが、とりあえずスペースだけ用意したという感じです。また、追々考えていきたいと思います。
向井会長	阪上委員はいかがですか。
阪上委員	これは南海電鉄、南海バスが主だと思うんですけど、近鉄さんは、この会議に1回も出てきてないけど除外しているんですか。
事務局 (井上課長)	一番最初には、主にバスを基準とした会議でしたので、公共交通会議は今おっしゃられたように近鉄さんも、南海電鉄さんもおられてない。ということでバスを主として会議を作ったということで、今後は検討しなければならないだろうと思ってます。
向井会長	ただ、時刻表をのせることは、バスを使って河内長野駅などの利用もありますから、そういう意味では掲載することも良いと思う。
事務局 (水上主査)	事務局として、日野先生のおっしゃってることはわかります。貼るには大きいと思ってます。ただ、市域全体の地図の中で、バス路線が全部どうあってというのが無かったものですから、できるだけターゲットをどこに絞るかというのもあるんですけど、観光用は別で考えてまして、まずは、市内の地図があって主要施設は全部入れているつもりです。そこに行くにあたって、どの路線に乗ったらどう行けるとか、それは全部網羅しているつもりです。どうしても貼るサイズにしようとするると細かくなってしまいうので、そのあたりはどうなのかなと。もっと小さくとなると地図も小さくせざるを得ないし、そのあたりのご意見をいただきたいと思います。
向井会長	事務局からの悩みがありましたが、委員の皆さんいかがですか。
日野副会長	単純に考えたら地図の大きさを最大にして、日めくり型のようにしたらいいんじゃない。地図を全面に出したいのであれば、あまり小さくすると見えないというなら、今でも見えないという方もいるから、なかなかしんどいところもありますけど、下にベロみたいなのを付けて地域ごとにめくれるようにするのもありかなと。

事務局 (水上主査)	このくらいのサイズで貼れるものとしていけますか。
日野副会長	大型冷蔵庫とかドアとかならいいかもしれないですね。全体の地図をどうしても入れたいというのが絶対条件になりますよね。そのへんはどうするか。主要な施設だけとかなら半分デフォルメみたいにするのは可能ですよね。
事務局 (水上主査)	デフォルメにした地図は長細いのがありますよね。
日野副会長	それは路線図じゃないの。路線図じゃなくて地形図じゃなくて、もう少し主要施設だけが入っている、縮尺はいい加減ですよみたいなところでデフォルメしたものだったら、主要な駅とか施設とかが入るようなものだったらもうちょっと小さくしてもできるかもしれない。
事務局 (水上主査)	めくる案はいいなと思ってんですけど、地図はやっぱりいるのかなと考えてます。そのへんはまた検討してみます。
堀委員	今の半分くらいのサイズなら何とか冷蔵庫に貼れるかなと。これで4枚編成にするか新聞みたいにするかどうかということですけど。
向井会長	今、他市の作ったマップがまわっていますけど、ご覧になっていかがですか。事務局としては、あと何回くらい議論する予定ですか。
事務局 (井上課長)	基本的には10月に最終版にしたいと考えておりまして、あとこれから2回くらいの公共交通会議の中で練っていきたいと考えております。
辻野委員	バスマップを作るんですよね。バスマップはこのイメージだと思うんですが、ルートとかは長い間変わらないんですよね。というのは裏のほうは時刻表なので変わる可能性があると思うので、バスマップはバスマップとしてひとつ用意しておいて、あとバスの乗り方などの手引きをコンパクトにすれば、あまり広げなくて済むのではないかなと。
内見委員	同じ意見なんですけど、時刻表のダイヤ改正の頻度というのがわからないので、それによっては広告を出すほうもそれを気にされるので、そのへんの裏側の機能の議論をもう少ししたほうが良いと思います。

事務局 (井上課長)	先ほども申し上げたように10月1日で決めて、ダイヤ改正なども踏まえて反映させようと考えています。随時変わってくると思っているので、その都度変更を加えていかなければならないだろうと感じています。ただ、それほど大きな変更は少ないと考えてますので、その際は、随時発信しなければならないと考えています。
辻野委員	例えば、モックルコミュニティバスが今上限200円になってますが、これ自体がどうなのかということもある。
向井会長	何か他にお気づきのことはないでしょうか。
川幡委員	マップではなく全般的なことなんですけども、この会議は公共交通の利便性を上げていくということだと思うんですが、警察のほうの立場から言わせてもらおうと、高齢者の比率が27%と当署の管轄内の交通事故の高齢者が占める割合が30%ということで、平均より若干高いという状況です。当然この比率というのは、間違いなく上がっていくことが予想されてます。例えば、高齢者の方で歳を重ねることで運動能力が落ちてくることもあり、普段運転に不安を抱いている方も多いと思います。ただ、環境的に見ますと利便性も悪い、坂も多いということで運転せざるを得ないという状況で運転される方が結構おられると思うので、そういうことを考えると、代替というか、運転に不安がある方が、極力マイカーを運転しなくても済むように公共交通の充実が図られていけば高齢者の交通事故が抑えられるのではないかと思います。もちろんすぐにできる話ではないので、中・長期的なスパンで見なければならぬと思います。
日野副会長	河内長野市独自では、免許返納制度に直接関わってはいないですね。免許返納で受けられる特典というのはあるんですけど、市の中でこういうものが受けれるというのがあれば免許返納率もあがるし、合わせて公共交通が使われるということもあると思うんですね。そういう意味ではいくつかの市では独自にやっておられますよね。その市独自でやられるサービスは、他の市の在住者は受けられないサービスで、市として免許返納した市民に対して何らかのサービスをするのはありかなと。そうすると自動車の運転も減って、バスに代わられたりということがあると思うんですね。これにはおそらく商工会さんや商店連合会さんが入らないとうまくいかないと思うんですけど。

川幡委員	免許返納につきましてはペーパーの人でも身分証明書として使う方もおられるんですが、それに代わるものとして運転免許証明書というものも出しています。特典としては加盟店で使用できる5%割引券などを取り入れたりして、府警としてはなるべく返納していただく方向で進んでいるところでございます。
向井会長	実際に実施している市などもあるんですか。
川幡委員	把握しておりません。
日野副会長	大阪府さん全体での加盟店を募って実施されていると思うんですけど、大阪府さんが増えたのが去年か一昨年くらいで、その際にその仕組みを実施したので免許返納数が増えたと思います。それまでの平成20年くらいまでだと兵庫県が一番進んでまして、神戸市、京阪神中心に加盟店もすごく多くて京阪神では一番免許返納が多かったと思います。大阪府さんはその3分の1くらいしかなかったんですが、去年同じような取り組みをされた結果、1年間で過去数年分の免許返納があったということです。和歌山県はまだ3ケタいかなくらいです。以前は身分証明も期限がありましたが、今は無期限になったのでずっと使えるのと、加盟店が増えるということも大事です。それとは別に市独自の特典をつけておられるのもあるので、大阪府警さんがやっているような加盟店の増設に加えて、そのような市独自の特典をセットにすると免許返納も進むのではないかと思います。
向井会長	マップの件について事務局はなにかありますか。
事務局 (井上課長)	ダイヤの改正とか地図のルートとかは、作った後、すぐに変わるのは宿命みたいなものであると考えておりました。その時々に応じて修正をかけていくしかないのかなと考えております。あとは農の拠点の関係でバスを導入するという計画もありますので、それに合わせてルートが変わる可能性も潜在的に考えているので随時対応していきたいと考えています。
向井会長	委員のみなさん、いろんなご意見いただいて本当にありがとうございます。次回のときにはまた良いバージョンになってると思いますが、ご意見あれば事務局のほうへお知らせいただければと思います。また、旅先などで良いバスマップなどを見かけた際には情報提供をいただければと思いますのでどうぞよろしく願いいたします。

	<p>それでは、最後にその他の案件ということですが、全体を通して何かお気づきのことがありましたらどうぞ。</p>
事務局 (井上課長)	<p>次の開催を6月に考えております。6月は議会もありますことから日程の調整をした上で、改めて委員の方々にご報告させていただきますのでよろしくお願いいたします。</p>
濱田委員	<p>前回もお話ありました料金のことですが、南海バスさんの河内長野からここに来る道中、赤峯から行った場合のバス料金は例として出していたのですが、何の回答もなかったんですがどうなってますでしょうか。</p>
事務局 (水上主査)	<p>濱田委員がおっしゃってるのは、河内長野駅から大阪南医療センターのことですよね。これにつきましては、路線バス千代田線、河内長野駅から終点大阪南医療センターのもう少し先の木戸東町で料金が270円になるのですが、これをモックルバス上限200円運賃と同様に上限200円運賃にするということで、現在、南海バスさんと協議中でございます。次回6月の会議のときにはある程度のものをお出しできると思いますので、それを今進めているところでございます。</p>
濱田委員	<p>トンネルが2本とも開通したので、バスの路線というのは考えていないんですかね。というのは、やはり緑ヶ丘から赤峯経由となると大変な交通渋滞になると思いますので、前もって考えていただかないといけないかなと思ってます。</p>
向井会長	<p>他の委員さんはよろしいでしょうか。 それでは、今日の第17回の地域公共交通会議を終わりたいと思います。いろいろご意見をいただきましてありがとうございます。ぜひこの会議が活発になって河内長野の公共交通を良いものにしたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。</p>

河内長野市地域公共交通会議委員名簿

平成25年4月24日（水） 午後3時から 河内長野市役所 701会議室

	氏名	所属・役職	代理出席
会長	向井 一雄	河内長野市 副市長	
副会長	日野 泰雄	大阪市立大学大学院工学研究科 教授	
委員	伊勢 昇	和歌山工業高等専門学校環境都市工学科 准教授	
委員	田中 秀人	国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局総務企画部門首席運輸企画専門官	
委員	黒田 唯雄	国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局輸送部門首席運輸企画専門官	
委員	浅井 敏彦	大阪府 都市整備部 交通道路室 都市交通課 公共交通計画グループ 課長補佐	
委員	森口 治	大阪府富田林土木事務所 地域防災監兼地域支援・企画課長	城
委員	川幡 一哉	大阪府河内長野警察署交通課長	
委員	松平 康一	南海バス株式会社企画部企画課長	
委員	奥村 夏男	南海バス株式会社営業部営業課長	
委員	坂本 頼幸	南海バス株式会社 労働組合代表	
委員	池谷 育晃	大阪第一交通(株) 河内長野営業所長	欠席
委員	椋本 専次	近鉄タクシー(株) 藤井寺総合営業所長	
委員	濱田 義夫	河内長野市老人クラブ連合会会長	
委員	阪上 明	河内長野市観光協会相談役	
監事	井戸 清明	河内長野市商工会理事	
監事	濱本 友美	市民代表	
委員	堀 泰明	市民代表	
委員	徳田 博久	河内長野市健康増進部長	
委員	内見 宏昭	河内長野市産業振興部長	
委員	宮川 祐次郎	河内長野市都市建設部長	
委員	辻野 修司	河内長野市総務部長	
委員	中谷 眞久	河内長野市市長公室長	